

こうとう民報

2013年 2月号 100

江東区の職場・地域、議会などから
し・平和を守る運動をご紹介します。

発行
こうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/

私たちはけっして忘れない! あきらめない! 無力ではない!



江東母親連絡会の伊原静江さんは「今日1日が、明日へのエネルギーになることを期待します」と開会の挨拶。

2月11日、『生命を生みだす母親は、生命を育てて生命を守ることこそをのぞみます』2013年江東母親大会が、総合市民センターで開催されました。

2013 江東母親大会 語り継ぐ平和への想い ある作家の体験から

午前中の全体会では、「語りつぐ平和への想い」ある作家の体験から」と題して、東京大空襲・戦災資料センター館長の早乙女勝元さんが講演。
早乙女さんは、福島第一原発事故にふれ「原発は『平和利用』として持ち込まれ、国民の不安の声に『安全神話』を振りまくことで、国民の警戒心を解いていった。戦争も同じように、大東亜圏の『平和』のためといつてははじめ、日本は神の国だから『大丈夫』と教育でたたきこまれた」と原発と戦争での国の対応は似ていると語りました。戦場において若い男性を送りこまれる中で、東京大空襲の

犠牲となつたのは、女性、老人、乳幼児など社会的弱者でした。当時の(昭和20年)平均寿命は男性23・9才、女性37・5歳。戦争が未来を奪うということをもまざまざと見せつける数字です。

早乙女さんは、自民党の改憲草案にふれ「憲法に明記されている平和的生存権(憲法9条)が危険にさらされている。自衛隊を国防軍に変えようとしているが、『隊』を辞書で調べると『2人以上の人間の組織』だが、『軍』となると『ものを破壊し、人を殺傷する能力のあるもの』と変貌する。けつして一文字変わるだけの問題では済まされない」と訴えました。
早乙女さんは最後に「私たちは決して忘れない、あきらめない、無力ではない」と語りかけ話を結びました。講演後の午後からは各分科会が開かれました。

2月20日に始まった区議会定例会に2013年度の江東区予算案が提案されました。
一般会計は1650億6500万円(前年比2・2%の増)で、この間共産党区議団が求めてきた特別養護老人ホームや認可保育園の増設、幼稚園のクローラー設置や高齢者・障害者の耐震ベッド設置助成、防災用備蓄物資の充実や区内中小

企業の実態調査などが盛り込まれました。
予算全体を通して増額の多くは、区民生活を反映した生活保護費や保育費の増、人口増に伴う学校など公共

き上げ、私道整備補助の要件を厳しくする、中小企業融資の利子補助率引き下げなど新たな区民負担増を行う一方、オリンピックピック招致予算や地下鉄8号線のため

13年度予算案・税収増は区民負担の増額 膨大な基金の水増しに反対

として、すぐには必要ない基金を5億円も積み増しをするなど、暮らしが大変な区民に背を向けるものです。とりわけ、今でも高すぎた保険料が払えない状況が

深刻な国民健康保険料を、またもや値上げするなど許せません。
区議団は区民アンケートで寄せられた意見「収入が増えないのに保険料など支出が増えて暮らしが大変」「医療費負担が大変」「介護を充実して」「子どもが保育園に入れないと働けない」など区民生活の実態と現実な要求をもとに、「暮らしを守る自治体の役割を果たせ」と区の姿勢の転換を求めています。

2月10日あぜ上野議と一緒に門を視察する江東区議団

青柳江東社保協副会長は開会にあたって「生活保護の基準切り下げが狙われているが、基準が下がれば様々な制度に影響が出る。学習し、手をつなぎあいつりくみを進めよう」と挨拶。
中央社保協事務局長の相野



講演する相野谷安孝さん

谷安孝さんが「社会保障制度改革推進法」の内容について講演。「政府は消費税増税により財源を確保し、社会保障のために使うとしているが、実際は介護保険、後期高齢者医療、国保料、年金、生活保護など改悪のオンパレード。推進法の最大のねらいは、国民負担の押し付けと給付の切り下げ、そして家族相互・国民相互の助け合いの押し付けにより公費の削減を行い、憲法25条の生存権を保障した社会保障制度を解体することにある」と訴えました。
参加者は、安倍内閣が狙う社会保障改悪を許さないため、さらに学習を深め、署名・宣伝など世論に訴える運動を強めることを確認しました。

2月1日、総合市民センターで江東社会保障推進協議会主催の江東社保学校が開催され、70名が参加しました。

江東社会保障学校開催される 問題だらけ! 税と社会保障の一体改革

脚稿

立春は2月4日。暦の上では冬至と春分の間にあつて、春の気配に桜の蕾がふくらむものの、厳しい寒気が訪れます。筆者の誕生日でもあるので、日本の近代史の2月をさかのぼってみました。1828年2月1日、「赤旗(せつき)」創刊。ガリ版印刷で600〜800部を月2回発行、翌年には活版化募金。それも7年後の2月20日1877年で停刊し、戦後10月に再刊第1号となります。2月11日「建国記念の日」は、67年佐藤内閣が制定。古代史家の津田左右吉が「架空」と断じた「神武天皇」から「紀元二千六百年」の盛大な式典の翌年、日本は太平洋戦争に突入しました。1933年2月20日、小林多喜二が築地署で拷問により絶命。多喜二は治安維持法による弾圧の記録「1928年3月15日」完成後、「蟹工船」執筆前に「資本論」の学習を始めました。「資本論」といえば、「日本資本主義発達史」の著者野呂栄太郎も34年2月19日、品川警察署で死去と年譜に記録されています。「こうとう民報」は2月で100号、創刊はあきらかではないが、2000年11月再刊、隔月刊の記録があります。05年12月19号から月刊として発行しています。今後ともご愛読の程、お願い申し上げます。

江東区労働組合総連合 新春旗びらき

1月23日、江東区労連は東京土建江東支部会館で「2013年新春旗びらき」を行いました。

新野好雄江東区労連議長が「昨年の総選挙では、自公両党で国会の議席3分の2を越え、『維新の会』などの右翼的潮流の議席が増大しました。しかし、戦争のない平和な暮



挨拶をする新野好雄江東区労連議長

らし、格差と貧困をなくし、雇用と生活を守る上で、日本国憲法の優位性はけつして衰えるどころか、ますます輝きを増しています。今年は、日本国憲法を守り抜き、消費税増税阻止、社会保障の切り捨て許さず、福祉の充実、原発即時ゼロの運動を広げて、6・7月に行われる東京都議会議員選挙や参議院選挙での勝利。地域で共同を広げ、当面は、全組合員が参加する国民春闘に勝利しよう！」と挨拶しました。

来賓として参加した、あぜ上三和子都議会議員は、都民の暮らしと営業を守るために、都民から切実な要求を聞き取り、猪瀬都知事に38項目の復活要望書を提出してきた、と要求の内容を参加者に報告しました。

上原議長は、「昨年の12月は石原知事の辞職で都知事選。野田内閣の急遽の衆議院解散となりました。選挙後の安倍内閣は三本の矢（金融緩和・大規模な財政支出・成長戦略）を打ち出しましたが、はなれた矢は決して良い方向に飛んでいくとは思えません。今年は憲法改定反対、消

江東民主商工会 新春のつどい 業者の営業と暮らしを守る運動を！

1月27日、江東民主商工会の「2013年新春のつどい」がティアラ江東で開かれました。



挨拶をする上原議長

費増税反対、確定申告などの春の運動を成功させ、業者の営業と暮らしを守る運動を旺盛に取り組み、江東民主商工会を大きくしましょう」と挨拶。

日本共産党のあぜ上三和子都議会議員7名、吉田としお地区委員長が来賓として参加し、参加者と懇談しました。

「松尾芭蕉」

松尾芭蕉肖像



概説 江東の歴史 (19)

松尾芭蕉は、1644（正保元）年、伊賀（三重県）上野（伊賀町柘植の説もある）で藤堂家に仕える左衛門の次男として生まれ、本名は宗房といひます。23歳のとき京都に出て、俳諧を北村季吟に学び桃青といひました。1672（寛文12）年、江戸に出て小石川の水道工事をして生活し、住居は転々としていました。

深川の芭蕉庵に入ったのは1680（延宝8）年、37歳のときでした。当時の深川は静かな淋しい所で、芭蕉は「九年の春秋、市中に住み侘びて」と市中のわずらわしさから離れ、俳諧に専念しようと思ったのでしよう。1694（元禄7）年に大阪で51歳で死ぬまで、旅以外はこの庵に住みました。

芭蕉庵は、門人杉山杉風（さんふう）のもっていた鯉の生簀（いけす）の番人小屋を改造し、萱葺屋根で六畳一間に板の間と台所と土間だけの簡素なものでした。弟子がここに芭蕉を植えたので庵の名となり、俳号ともなりました。庵からは遠くに富士を、隅田川には多くの舟が浮かんでいるのがみえました。「古池や 蛙飛びこむ 水の音」などの名句もここで生まれました。

芭蕉は何度も旅に出て「野ざらし紀行」や「奥の細道」などの紀行文を書き、文学史上に足跡を残し、多くの俳人を育てました。高弟の其角は木場に住み、深川に曾良など、小名木沢に桐溪、砂村に利合がいました。

川上とこの川しもや 月の友（芭蕉）
芭蕉庵は、天和の火事で焼けたり、1689（元禄2）年の「奥の細道」の旅の前に他人に譲ったりされ、1692（元禄5）年に三度目の庵が弟子たちによって建てられました。芭蕉没後は大名屋敷から民有地にかわりました。

1921年には、小名木川の畔にあった榎木稲荷（芭蕉稲荷）が芭蕉庵として東京府の旧蹟に指定、現在は常盤1丁目に記念館がたてられ、全国から多くの人びとが訪れています。

あぜ上三和子都議 facebookはじめました！

（facebook を利用が登録し、必要に『あぜ上三和子』で検索してください）



みんなでつながろう！みんなで変えよう！ 一人ひとりが大切にされる社会へ！ 第一回「facebookって何だろう？」講座

あぜ上三和子事務所フェイスブック担当スタッフが「大手いじ責任者は、報道を続けるなかで、真実をしつかり見つけ、一人ひとりが情報を発信していくことが重要になっていく。その中のひとつのツールとしてインターネットの活用はかかせない。対話の力と合わせてインターネットをうまく活用し、世論を変えていきましょう」と力説しました。



2月1日、日本共産党江東地区委員会「フェイスブックって何だろう？」講座が開かれました。

力説する坂口けいじ責任者
参加者は「どんなことができるの？」と交流
スブックの基本的な操作方法などを学びました。
参加者は、ほとんどが初挑戦！真剣な眼差しでパソコンに向かいました。
次回の講座からは、フェイスブックの活用方法などを学び、交流会なども行っていく予定です。



行事日程

- 3月5日（火）18時30分、江東革新懇・総会と学習会、江東区民センター
- 3月9日（土）13時、東京大空襲を語り継ぐつどい、カメラアホール、つどい実行委員会
- 3月13日（水）13時、重税反対総行動、総合区民センター

